

令和 7 年度

第 4 回 エコル検定

問題冊子

～中学生以上向け～

2026年2月7日（土）

11時00分開始 試験時間 60分

注意事項

問題は①～④まであります。すべて4択です。正解だと思う選択肢を、解答欄に記入してください。

試験中の私語、スマートフォンなどの電子機器の使用、他の受験者の答案を盗み見るカンニングは不正行為とみなします。

また、試験開始の合図の前に、問題を見ること、解答を始めることも不正行為とみなします。

不正行為をした場合、採点を実施せず、認定証の交付も行いません。

11時15分になりましたら、希望者は解答を終了し、退室することができます。

退室する場合は、忘れ物がないかよく確認してください。

検定試験の結果については、2月14日をめどに、当館ホームページで公開します。

試験官より指示がありましたら、以下の名前欄に、受験番号と氏名を正しく記入してください。

記入がない場合は、採点を実施せず、認定証の交付も行いません。

なお、受験番号は、着席している座席に貼り付けている番号を記入してください。

採点に使用しますので、この冊子は持ち帰らないでください。

この冊子の無断転載、無断転用はお控え下さい。

受験番号	名前

1 エコルとごしの展示と取り組みに関する（1）～（5）の問題に回答しなさい。

回答欄は5ページにあります。

(1)

エコルとごしは、省エネと創エネによって建物が消費するエネルギーを一定以上削減することで東京都内の公共建築物として初めて「Nearly ZEB」の認証を取得した。この認証では、何パーセント以上のエネルギー消費量削減が求められるか？

正しいものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 25%
- B) 50%
- C) 75%
- D) 100%

(2)

エコルとごしは建物自体が環境にやさしくなるように設計している。エコルとごしで取り入れられている環境にやさしい工夫として正しいものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 熱を通しやすいガラスを使い、部屋が暑いときに、建物の外に熱を逃がしやすくしている。
- B) 地中熱を使って発電を行い、館内で使用している。
- C) 建物の平面形状を正方形にし、外壁が受ける外部からの熱の影響を減らしている。
- D) 屋上の太陽光パネルを、発電効率が最も高い30度に傾けて設置している。

(3)

エコルとごしでは、最新の技術に加えて伝統的な技術も活用し、環境負荷の低減を図っている。公園側に設置された“ひさし”もその一例であり、夏季の強い日射が館内に侵入することを抑制し、空調に必要なエネルギーを削減している。では、この“ひさし”的長さは何mあるか。最も近いものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 0.5m
- B) 1m
- C) 2m
- D) 3m

(4)

エコルとごしでは、資源の問題についても取り組みを行っている。エコルとごしで行っている取り組みとして誤っているものを、A～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 食べきれない食品を捨てずに回収し、必要な人へ届けるフードドライブに協力し、食品ロスを減らしている。
- B) 地下に40,000ℓもの雨水を溜められるタンクを設置し、トイレの洗浄水に使用している。
- C) 3階のメッセージ展示で書けるメッセージカードは、バナナペーパーや古紙パルプ100%のものなど、環境にやさしいものを使用している。
- D) 使わなくなった紙製品を回収し、館内のトイレットペーパーに再生している。

(5)

エコルとごしでは環境問題の啓発のため、8月に行うエコルキャンドルナイトでは、2023年には竹を、2024年と2025年にはビンを使用した。竹やビンに関する環境課題や課題解決に向けた取り組みについて述べた以下の文のうち、正しいものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 竹は、60～120年に1度しか花が咲かないほど繁殖力が弱く、昔から保護の対象となっていた。
- B) 竹の根は深くまで伸びるので、土壤の保水力が上昇し、土砂崩れのリスクが低減するため、竹は昔から頻繁に植えられてきた。
- C) ビンを使用形態で見た場合、リターナブル瓶とワンウェイ瓶の2種類があり、リターナブル瓶は主にリサイクルに、ワンウェイ瓶は主にリユースに関係する。
- D) 古くなった瓶は、回収後に新しい瓶やアスファルトを作る原料となるため、他のゴミと混ぜないようにすることが大切である。

1 解答欄

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

②エコルとごしの常設展示は「ジカン」をキーワードに、身近な視点から環境を考える展示となっている。

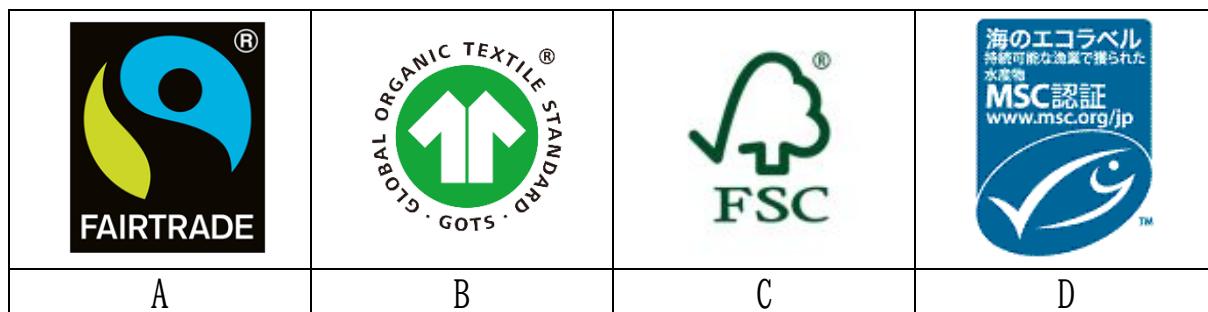
エコルとごしの展示に関する（1）～（9）の問題に解答しなさい。

回答欄は、9ページにあります。

(1)

日本で流通する衣服の多くは海外で大量生産された輸入品であり、大量消費・大量廃棄につながる現状が問題となっている。環境負荷を減らすためには、環境に配慮して生産された“オーガニック”な衣服を選び、長く大切に着用することが求められる。

そこで、オーガニック繊維製品として認められるための基準と、その認証マークとして正しいものを、次のA～Dの中から1つ選びなさい。



(2)

人は1週間にどの程度の量のプラスチック（主としてマイクロプラスチック）を摂取していると推定されているか。最も近いものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 1円玉1枚分
- B) 歯ブラシ1本分
- C) クレジットカード1枚分
- D) ペットボトルのキャップ1個分

(3)

日本は多くの食品を海外からの輸入に依存しており、その結果、フード・マイレージと呼ばれる指標は先進諸国の中でも極めて高い値を示している。フード・マイレージは、食品の重量に“ある数値”を乗じて算出される指標である。では、この“ある数値”として適切なものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 運ぶ時間
- B) 輸送の費用
- C) 食料自給率
- D) 運ぶ距離

(4)

品川区では、「食品ロス削減」を推進する取り組みの一環として、食品を大切に扱い、無駄を減らす工夫を行っている飲食店や小売店を認定する制度を設けている。この制度の名称として正しいものを、次の A～D の中から一つ選びなさい。

- A) しながわ食品ロス削減サポート店
- B) しながわもったいない認定店
- C) しながわもったいない推進店
- D) しながわ食品ロス削減協力店

(5)

地球温暖化は、気温が高くなるだけでなく、様々な影響を及ぼすことが懸念されている。地球温暖化に伴って発生すると考えられている事象として、誤っているものを次の A～D の中から一つ選びなさい。

- A) 渡り鳥の飛来時期の変化
- B) 新しい感染症への感染リスクの上昇
- C) 降雨の激甚化
- D) スギ花粉の飛散量の減少

(6)

現代の生活においては、多様な移動手段を選択することが可能である。日本国内における次の A～D に示す 4 つの移動手段のうち、1 人を 1 km 移動させる際に最も多くの二酸化炭素を排出するものを一つ選びなさい。

- A) 航空機
- B) 自家用乗用車
- C) 電車
- D) バス

(7)

トイレの電気便座には、お湯を溜めておくことで便座などを温める貯湯式便座という方式がある。貯湯式便座の場合、便座の設定温度を「中」から「弱」に変更した場合、1 年間で一世帯あたり、どの程度の二酸化炭素を削減できると考えられているか。次の A～D の中から最も近い値を一つ選びなさい。

- A) サツマイモ 1 本 (0.5 kg)
- B) 2 L ペットボトル 1 本 (2 kg)
- C) スイカ 1 玉 (5 kg)
- D) 柴犬の成犬 1 匹 (11 kg)

(8)

日本で使用する電気は、様々な方法で発電されている。日本における発電方法について記載した次の A~D の文章のうち、誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

- A) 1950 年代に総発電量の約 80% を占めていた水力発電は、現代では総発電量の 10% 程度にまで減っている。
- B) 火力発電は、石油による発電が中心だったが、1980 年代以降は、石炭や 液化天然ガス (LNG) が中心となっていました。
- C) 1970 年代から本格導入された原子力発電は、2011 年の東日本大震災を受けて大部分が 停止し、2018 年時点でも総発電量の 6% 程度しか発電していなかった。
- D) 2012 年以降、再生可能エネルギーによる発電は増加傾向にあり、2015 年以降は 総発電量の 30% を毎年占めるようになった。

(9)

日本国内における 1 世帯あたりの電力消費量の推移に関する次の A~D の文章のうち、誤りを含むものを 1 つ選びなさい。

- A) 1970 年から 2005 年にかけて、1 世帯あたりの電力消費量はほぼ一貫して増加した。
- B) 2005 年をピークに電力消費量は減少傾向に転じ、2015 年には 2005 年よりも 1 世帯当たり約 60kWh 少なくなっている。
- C) 1985 年と 2015 年における 1 世帯当たりの月間電力消費量の平均を比較すると、 2015 年の方が少なく、その理由は省エネ家電が広まっていったためである。
- D) 2011 年の東日本大震災以降、1 世帯当たりの電力消費量は減少傾向にあり、節電意識の 高まりが影響していると考えられる。

2 解答欄		
(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)

3 地球温暖化に関する（1）～（9）の問題に解答しなさい。

回答欄は12ページにあります。

(1)

地球温暖化の主要因となる温室効果ガスは特定の物質ではなく、複数の物質をさす。次に示した温室効果ガスのうち、排出量が最も多いものを、次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 二酸化炭素 (CO_2)
- B) メタン (CH_4)
- C) 亜酸化窒素 (N_2O)
- D) オゾン (O_3)

(2)

2025年6月から8月にかけての日本の平均気温は、気象庁が1898年に統計を開始して以来、過去最高を記録した。では、この平均気温は平年と比較して何度高かったか。

最も近いものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 0.86°C
- B) 1.36°C
- C) 1.86°C
- D) 2.36°C

(3)

近年、地球温暖化の進行に伴い、温室効果ガスの動向が国内外で注目されている。2025年に報じられた日本付近の大気中の二酸化炭素濃度に関する観測結果では、その変化の傾向が明確に示された。この報告内容として最も適切なものを、次のA～Dの中から一つ選びなさい。

- A) 減少傾向にある
- B) 横ばいで推移している
- C) 増加が止まらない
- D) 大幅に減少した

(4)

2025年11月、ブラジル・ベレンにおいて開催された国連気候変動枠組条約第30回締約国会合（UNFCCC COP30）で掲げられた主要テーマとして適切なものはどれか。次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 海洋プラスチック削減
- B) 温室効果ガス排出削減の強化
- C) 森林火災対策
- D) 再生可能エネルギーの普及

(5)

地球温暖化の進行により、日本各地で夏季の高温化が顕著となり、稻の品質低下や収量への影響が懸念されている。一方で、こうした気候変化を逆手に取り、新たな農業の可能性を見いだそうとする取り組みも始まっている。特に稻作農家の間では、気温上昇を「収穫機会の拡大」として活用する方法が注目されている。この取り組みとして最も適切なものを、次の A～D の中から一つ選びなさい。

- A) 水田を冷却する装置の導入
- B) 再生二期作による二度の収穫
- C) 稲の品種改良による耐熱性向上
- D) 稲作から果樹栽培への転換

(6)

近年、プラスチックごみ削減や脱炭素化の観点から、使い捨て容器に代わる「マイボトル」の利用が推進されている。ペットボトルは製造・輸送・廃棄の各段階で多くの二酸化炭素を排出する一方、マイボトルは繰り返し使用することで環境負荷を抑えられるとされている。では、マイボトルを継続的に使用した場合、ペットボトルと比較して二酸化炭素排出量をどの程度削減できるとされているか。最も適切なものを次の A～D の中から一つ選びなさい。

- A) およそ 10 分の 1 まで減らせる
- B) ほとんど変わらない
- C) わずかに減る程度にとどまる
- D) 100 回以上使わないと効果がない

(7)

近年、廃棄物の再資源化に関する取り組みは多様化しており、その手法の一つとしてアップサイクルが注目されている。次の A～D の記述のうち、アップサイクルの定義と完全に合致するものを 1 つ選びなさい。

- A) 古いTシャツを雑巾にする
- B) ガラス瓶を集めて、新しいガラス瓶にする
- C) 海辺で集められた海洋プラスチックを加工してアクセサリーにする
- D) 古紙を回収して、トイレットペーパーとして再生する

(8)

環境省を中心として、国の特別天然記念物であり絶滅危惧種でもあるライチョウの保護活動が進められている。長野県の中央アルプスでは、2018年に1羽のメス個体が確認されてから、2025年には190羽まで回復した。では、ライチョウの生息数が減少した要因として誤っているものを、次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 森林開発による雪崩の増加に伴った、営巣地の破壊
- B) 温暖化による肉食動物の、標高の高い地域までの進出
- C) 温暖化による餌となる高山植物の減少
- D) 観光客数の増加によるストレスと、それに伴った親鳥の巣の放棄

(9)

「ブルーカーボン」とは、地球温暖化を防ぐために注目されている自然のしくみの1つである。次のうち、ブルーカーボンの定義として正しいものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 海の生き物が出す二酸化炭素のこと
- B) 海や沿岸の植物が吸収してためる二酸化炭素のこと
- C) 青い色の炭素を使ったエネルギーのこと
- D) 空気中の酸素を増やすための人工装置のこと

3 解答欄		
(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)

4次の（1）～（2）の問題に回答しなさい。

回答欄はこの13ページ下部にあります。

（1）

現代の環境保護運動の出発点とされる、レイチェル・カーソンの著作『沈黙の春』（1962年発行）では、“あるもの”による環境汚染についての警告を発している。その“あるもの”とはどれか。正しいものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 放射性物質 B) 遺伝子操作 C) 農薬 D) マイクロプラスチック

（2）

2025年5月、「世界一貧しい大統領」として国際的に知られたウルグアイの元大統領、ホセ・ムヒカ氏が逝去した。ムヒカ氏の在任期を含め、ウルグアイは再生可能エネルギーの導入を国家戦略として推進し、世界的にも極めて高い水準に達していることで注目されている。では、近年のウルグアイにおける電力供給のうち、再生可能エネルギーが占める割合として最も近いものを次のA～Dの中から1つ選びなさい。

- A) 65% B) 75% C) 85% D) 95%

4 解答欄	
(1)	(2)

問題は以上です。